



編集と発行

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323
電話 532111 (代表) 内線40



“イネミス”の撲滅を目指して防虫剤を散布 (嘉瀬)

豊作の願いを託して 農作業フル回転

水田風景も緑が一層映える季節となり、根の定着と気温の上昇に伴って、苗の成長は日毎に見えるようになりました。

病害虫は早期発見・早期防除

水管理が重要とされる水稲栽培で、この時期になると病害虫の発生が一番心配され、天候など自然的被害

と違い早期発見、早期防除で克服できることから、注意深く見回ることが肝要です。

昨年、嘉瀬地区の一部で発生した新害虫の「イネミスゾウムシ」が今年も町内に発生し、葉の食害だけでなく、これからの時期は幼虫が根を食い荒すことから特に注意が必要です。

「イネミスゾウムシ」は越冬

「イネミスゾウムシ」は昭和五十一年、愛知県下で発見されたアメリカからの侵入害虫で、水田で繁殖した新成虫が、畦畔や、土手雑木林などの越冬場所へ移動し、雑草や落葉の下で休眠。田植えが始まると水田に飛来して移り、稲の品種

また、町内作付品種の主流を占めるアキヒカリやコチミノリは、「イネカラバエ」に弱いことから、適正な薬剤濃度を心掛けるなど効率の良い防虫剤散布が重要です。

「中干し作業」

は温暖気候で

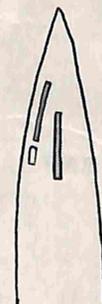
出穂前に発生する「紋枯病」や冷害気象下でも発生する「葉いもち病」は、害虫と違った意味で広がることから、やはり「一日一回り運動」を習慣づけ、苗葉をよく観察し、発見したら

即防除に努め、その後も状況を見て追加散布が必要です。



「イネミス」の越冬成虫

イネミスゾウムシの食害



ドロオイムシの食害



「イネミス」の発見は葉の食害から

ドロオイムシの食害と似ているが、イネミスは1ミリ位の幅でまっすぐに食べる。

第二次金木町総合計画 策定に入る

目標年度は昭和七十年

町では、将来の「まちづくり」を進めるため、町民生活の安定及び生活環境の向上等を目的とした「第二次金木町総合計画」を策定することになり、これまでに審議会や策定会議などを組織しました。

国の四全総（第四次全国総合開発計画）や県の第五次長期総合計画の策定が進む中で、金木町総合計画は昭和四十八年度に地方自治法に基づき策定されましたが、目標年次が昭和五十七年度であり、かつ、社会経済情勢の変化などに対応す

るためその後の計画が急がれていました。今回の計画は、昭和六十年と七十年までの十年間を計画期間とし、町の将来像や目標を定める基本構想。これに沿って具体的な町の発展策を表す基本計画。さ

らに、基本計画で定めた施策を明らかにする実施計画の三つからなります。また、十年間のうちにも情勢の変化が予想されるため、基本計画は五年、実施計画は三年間で見直しを図り、これを繰り返しながら目標を実現することになり

ますが、計画内容は、町行



皆さんのご意見を一。と開催された部落懇談会

策定体制としては、庁内各課の代表からなる策定主任会議と各課長ら十八人で構成する策定会議を設置しているほか、町長の諮問に

財政全般にわたる、町づくりの指針とも言えます。策定に当たっては、昨年度実施した農村総合整備計画策定に係る住民アンケート調査の結果や、集落懇談会での意見要望のほか、さる五月二十七日から六月十三日までの十一日間、各集落毎に開いた部落懇談会での意見要望も十分反映させることになりました。計画の形態は①基礎的条件整備計画②産業振興計画③生活環境整備計画④住民福祉計画⑤教育文化計画⑥行財政計画の六つに分けて策定する予定です。

「町民憲章」、町の「木」「花」「鳥」を制定

日に旧金木町、嘉瀬村、喜良市村の三町村が合併して今年で三十周年を迎えたことから八月に記念式典も予定され、町民の合言葉とも言える「町民憲章」の制定と町のシンボルとしての「木」「花」「鳥」を指定する予定です。制定に当たっては、昨年実施した住民アンケート調査の結果を基に策定主任が文案を作成し、上部機関に諮ることになりました。

今年度

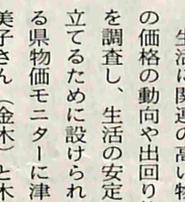
県政モニターに桑田さん



桑田哲明さん

（喜良市）が委嘱されました。県政モニターは、県のアンケート回答やモニター会議などに出席しますが、政治・経済及び社会一般の問題に関心を持ち県政モニターとして熱意をもっていらっしゃる桑田哲明さん（二〇歳以上の方に委嘱されています）。

物価モニターは津島さん 木村さん



津島恵美子さん

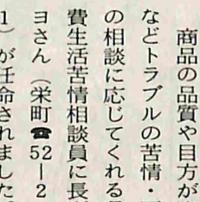


木村美智子さん



生活に関連の高い物資等の価格の動向や出回り状況を調査し、生活の安定に役立てるために設けられている県物価モニターに津島恵美子さん（金木）と木村美智子さん（嘉瀬）が任命されました。モニターは県の指定品目三十種類の出回り状況などを毎月調査しています。

長利さんは消費生活苦情相談員



長利キヨさん

商品の品質や目方が違うなどトラブルの苦情・不満の相談に応じてくれる消費生活苦情相談員に長利キヨさん（栄町 52-2335）が任命されました。

五穀豊穰を祈って 昔ながらの虫送り

昆虫退散、五穀豊穰を祈って昔ながらの虫送りが、五月二十六日に川倉、藤枝。六月七日に金木地区でそれぞれ行われ、県無形文化財の「さなぶり荒馬」が笛、太鼓に合わせ、太鼓に合わせてねり歩きました。

伝統行事として農家に伝わるこの催しは、田植えの終りを告げると共に、植えられた苗に害虫が寄生し、

今では薬剤散布を施しているもの、昔はそれがなく、折願することだけが唯一の無形民俗文化財に指定されています。



県無形文化財の荒馬。子どもたちも応援(金木)

藤枝地区で催された「虫送り」は、村の長老が半日がかりで長さ四メートルの七節もある「虫」を稲わらで作り、午後から若者が一軒一軒荒馬を踊りながら門付け。五十三戸全ての家々を回ると、最後に村はずれの保食神社へ虫を掲げました。

この間、訪問された各家では、荒馬に酒を振る舞いますが、途中ヨレヨレになり、道路端のセキに落ちた。

一軒一軒回り 約七時間

元氣な荒馬もあるくらいで、最後の家にたどりついたときは、荒馬の尾を引きずり、広い道路もかなり狭く感じられるようになっていました。

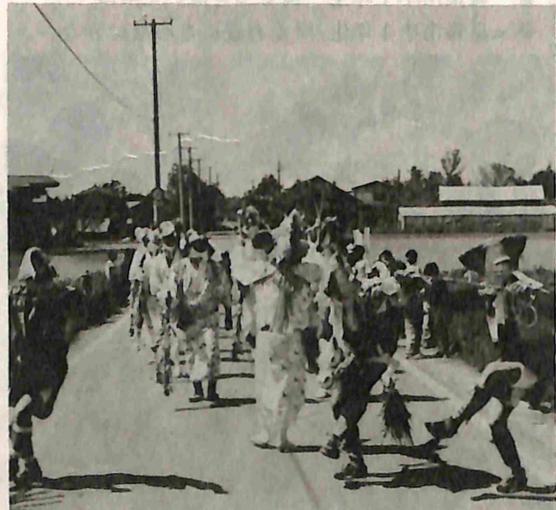


藤枝地区の「虫送り」

この祭りでは、村中の害虫はもちろん、弱虫、イジケ虫、腹の虫まで酒によって追い出された感じでした。

「さなぶり荒馬」の歴史は古く、天保年間(1880年代)に藩主信政公が、民情視察の途中、金木村を訪れ、八幡宮に五穀豊穰と武運長久の御祈願をされ、村から帰る途中、粗末な丸太橋を馬で渡る際、その勇姿に感激した村人たちは、村の誉れとして永久に残すべく、「虫送り」の行事に荒馬踊りとして取り入れ、今日に至っています。(郷土史参照)

また、同日催された川倉地区の「虫祭り」は、青年団が主体となって「太刀振り」と「荒馬踊り」で行い、虫を退散させるためか、「アッ、シッ、シッ」の掛け声で太刀になぞえた棒を振り回し、ここでも門付け。酒が進むにつれて、相手の頭をたたいた太刀振りも出る始末で、三柱神社を元気にした約四十人の青年団員も、村はずれで最後に行われた「もちつき」と「虫いじめ」の儀式には、六、七人。



川倉地区の「虫祭り」

運動会

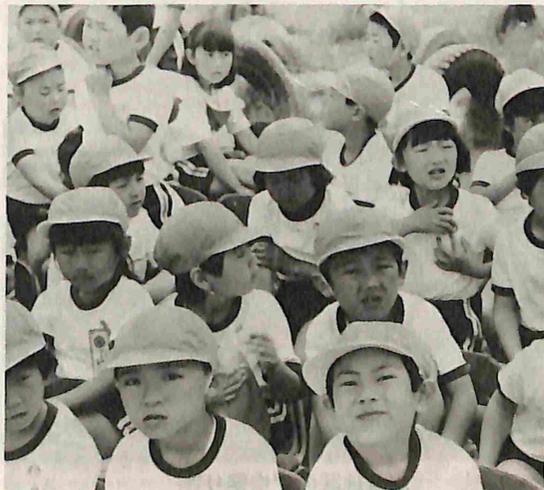
校一斉に



◀ 金小1年生の入場行進
それいけ!!川倉小1年生



↑ 喜良市小1年生“長ぐつをはいたネコ”
↓ 喜良市小1年生 早くお昼にならないかなー。



達者でがんばってマス

吉田 長三郎さん(81歳)

明治36年12月15日生

住所 大字蒔田

◇畑と庭先の草むしりが日課で庭木いじりが楽しみの一つです。兄弟六人は今でも皆健在で長寿の巻です。家の前の金比羅宮に、しめ縄を奉納しつづけて六十二年。これが縁か、カゼ、一つ引かないようになりました。

◇金木で競馬ヤツテアッタトギ、馬が好きで十年位騎士をした。酒は十年前にや

めデ、たばこは昔からノマネ。今は唐いもの、シヨツパイもの全々カネグナッタジャ。家族は三夫婦で一番オッキひ孫は高校二年生にナッタ、あと五、六年でヤシヤゴも見ねインタナ。しめ縄は柱に結び付けるのがむずかしくて同じドゴ回サネダネ。今、菊の大輪サ凝って三十鉢位作ってラバツテ運動が第一の健康ダオン。〇……目をキラキラ輝かせ肉より魚、魚より野菜が好きと答えてくれた吉田さん。



今日は天気もいいし、草とりでも…………。

六十三年間の手作りによる「しめ縄奉納」は、誰にも真似のできるものでなく、ヤシヤゴが楽しみですネ。

春の大町内小学

春の大運動会が、さる六月二日、町内四つの小学校で同時に行われ、ピカピカの一年生も汗だくでがんばっていました。

金木、嘉瀬、喜良市、川倉の小学校が一斉に運動会とあって、街並は、閑古鳥が鳴く程の静けさで、反面各小学校グラウンドは、どこも声援がこだまする大賑いとなりました。



嘉瀬小1年生 もうすぐボクの番だゾ

どの会場も最近では、町内単位や個人毎にカラフルなテントがズラリと張られるようになり、子ども達も我が家をまちがえる程で、この日のために作られたお母さんのごちそうに大はしゃぎ。毎日運動会だといったにね……。

このうち、創立百周年を迎えた金木小学校では、赤組と白組それに青組の三つに分かれ、午前八時三十分から古川町長ら来賓の見守る中、華やかな応援合戦を繰り広げて競技が始まりました。百メートルなどの徒競争のほか四年生以上による太刀振り、荒馬、しし踊りを披露し、歓声を呼んでいました。

町内全ての小学校が同じ日に催される運動会もめずらしく、どこの小学校も独特のユーモアあふれる競技で趣向をこらし、一五四人の児童と父兄は、初夏の一時を楽しみました。

やくばのしごと② 民生課

福祉、環境・公衆衛生が主管

「福祉の時代」と言われる今日、私たちが生活を

する上で生命の安全と健康を様々な角度から見出し、直接携っている課が、庁舎一階にある民生課です。

この民生課の仕事は、福祉と衛生に大別され、福祉係は、軍人恩給・生活保護

身障者・精薄者に関する事務をはじめ、老人福祉や老人保健、敬老年金、児童手当の支給も担当し、福祉センターや憩の家などの管理も挙げられます。

衛生係は塵

介処理、犬の登録など公害環境衛生に関することや保健センター、保健福祉館の管理のほか、

公衆衛生に係る各種検診、予防接種などの仕事をしています。

また、福祉バスや保健指導車など目的に応じた公用車を十一台有し、職員は、保健婦四人を含め二十五人、これに保育所関係の保母などを含めると六十二人の大



所帯となっています。

民生課では、福祉と衛生の事務を進める上で、民生委員や保健協力員とタイアップして生命の安全と環境整備を行政面から支えています。

管理職のプロフィール

民生課長 須崎由美(57)

昭和2年7月26日生まれ

役場勤続38年

職員(38年)と管理職

(19年)の長老。

自ら健康づくりに専念。

私の一言……

私たち、福祉行政にたず

さわる職員は、常に住民の福祉と健康を考え、特に経済的その他において恵まれない環境にある方々に対し、その独立心をそごうことなく健康で明るい生活が出来るよう援助することに心がけることだと思えます。

1階 民生課

表-1
金木町における死因別死亡者調

年	1	2	3	4	5	総死亡数
昭和45	31	17	15	7	6	100
50	38	21	17	14	13	122
55	27	22	20	8	4	98
56	36	14	13	10	10	109
57	27	18	12	11	8	98
58	31	21	11	6	5	100
59	24	23	19	10	4	102

死亡原因のトップは成人病

金木町に住む人たちは、一体何の病気で亡くなっている方が多いのでしょうか。昭和四十五年から五十九年までの十五年間、金木町の死因別死亡数を比較してみますと表1のようになっています。

皆さん、お元気ですか？ 六月、七月と朝早く起きるのが、気持ちの良い季節になってきました。食欲は？ 仕事はバリバリやっていますか？

保健センターから こんにちは！

今年も、結核検診を始め各種検診がスタートしました。検診は健康を守る大切なものです。家族みんなのために、そして何より、自分自身のために進んで受けましょう。

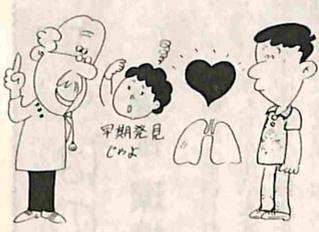


ここでお気付きのように、ガン・脳卒中・心臓病のい、わゆる三大成人病が最大の原因となっているのです。この成人病は、三十歳代後半のちょうど働き盛りの頃から急激に発生が増加しています。

検診のいろいろ

さて、あなたは町で実施している検診をどのくらいご存じですか？ そのうちいくつかの検診を受けられたでしょうか。

現在、金木町では、高血圧や動脈硬化、心臓病を早期発見する一般健康診査。肺結核の発見を目的とした胸部レントゲン検査。胃ガン、胃十二指腸潰瘍の早期発見



このニツキ成人病を予防するには、どうしたら良いか、健康な体を成人病から守る才一の手段なのです。

に役立つ胃ガン検診。子宮筋腫や卵巣のう腫、子宮ガ

最近、金木町では、小学生を中心に「手足口病」が流行しています。この病気は「ウィルス」が原因の夏かせの一種で、病名のとおり手のひら、足のうら、口の中に水疱が出ます。手、足に出る水疱は指紋に沿ってあるのが特徴で、少しかゆみがあります。

口の中には、ほおの内側、舌、のどに出き、のどはまっ赤になり、小学生になるとひざの後や、

表-2
昭和59年胃ガン検診の結果

集計	受診者数	性別		今年が初め	異常なし	癌以外の患者	精査検査を受けた人
		男	女				
40才未満	101	33	68	45	98	3	12
40~49才	255	63	192	40	235	16	46
50~59才	251	56	195	40	234	12	48
(65才↑)	46	12	34	7	42	3	22
60~64才	81	28	53	14	76	4	9
70才以上	42	20	22	10	38	3	9
計	776	212	564	156	723	41	137

おしりにも水疱が出ることもあります。三十％位の子供には、軽い発熱もありますが、一日〜二日で熱は下がります。特効薬はありません。熱が下がり水疱が出なくなれば、入浴や外出もOKです。予防法としては、伝染することから患者の近くに連れて行かないことと、手洗いの励行を。

長引く病気ではありません

特効薬がない 手足口病

家族の大黒柱となつていませんか？

理に少しの時間があればできる検診を今年こそ受けて

目標は反収30万円

味は抜群の “えびすかぼちゃ”



5月28日開かれた「青空教室」

今や金木町の「名産品」として定着している「えびすかぼちゃ」は、多収より高品質を―と、つるの選定や着果作業を終え、管理体制に万全を期しています。

味は抜群で、東京、名古屋方面で好評を博している「えびすかぼちゃ」も、野菜の価格変動の例にもれず、毎年上・下し、昨年は安値をしいられ、反収約十二万円。三十万円を目標に今年こそ―と期待を寄せています。

これからの作業は、つるを回し、床返し、が主で、形や着色で等級が決まることから、栽培農家は、一個一個にいいに撫で直し、信用のおける、かながきかぼちゃづくりを進めています。

金木農協では、七月上旬の「目ぞろえ会」頃には、販売見通しが判るとしながら、総額で五千万円の売上を見込んでおり、今年の高値に期待しています。

町営牧場に 一六二頭を放牧

管理業務を肉用牛組合に委託している町営模範牧場で、放牧が行われ、一六二頭の牛が、二十、三十センチに伸びた新鮮な牧草を求めて牧区を走り回っていました。

長い間牛舎に閉じ込められていた牛たちも、春の日差しを体いっぱいを受けて走り回り、新鮮なやわらかい牧草を、おいしそうに反芻していました。

今年の放牧は、今春生まればかりの仔牛七四頭を含め、肉用黒毛和種が全部で一六二頭。検査が終り新しい耳標が付けられると、次々に牧区に入れられます。



中谷さんに勲四等旭日小綬章

春の叙勲で金木町から中谷仁太郎さん(七十九才)川倉 勲四等旭日小綬章

を受賞しました。

中谷さんは、大正十四年



三月函館師範学校を卒業後北海道夕張才二小学校教員を振り出しに、三十八年間奉職。金木高校の校長を歴任するなど学校教育の永年功績が認められたものです。

緑を次代に ～植樹祭～

緑を次代に引き継ごう。と恒例の植樹祭が、さる五月十七日、約一三〇人が参加して、川倉山で行われ、八〇〇本の杉苗を植えました。

町と営林署が主催する今年の植樹祭は、樹令約一三年のひばを伐採した大倉岳国有林九一林班(通称川倉山)三〇アールを会場に行われ、植樹に先立ち、古川竹夫町長と鈴木三男金木営林署長が主催者を代表して、「国際森林年にちなみ、森林資源の保全を今一度見直し、若い世代の参加を呼び掛け、緑豊かなふるさとづくりに努めましょう。」などとあいさつしました。

このあと、営林署員による模範植樹が行われ、快晴の下、岩木山を背景にクワと杉の三年苗を片手に一本一本心を込めて植え付けました。



植樹する古川町長

植樹祭のあと、中央公民館で、山火事警防会議を開き、山菜採りシーズンを前に、山火事防止と遭難防止などについて話し合いました。

芦野動物園に「狸」が仲間入り

ボス猿II世が生まれた芦野児童動物園に、新しく四匹の「狸」が仲間入りし人気を呼んでいます。

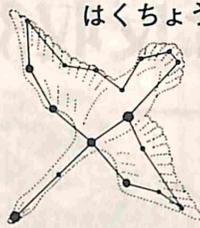
この狸は、川倉出身で神奈川県に住む工藤正昭さんが、ペットとして飼っていたものを、故郷の動物園で役立てて。とプレゼントしたもので、オス一匹、メス三匹。この狸の仲間入りで、熊、猿、しか、ポニーなど一八種類の動物が飼育されることになりました。

「狸」の住居は、とりあえずツキノワグマのとなりに設置され訪れるチビッコたちから早くも「かわいい」「絵本と違うみたい」などと人気を呼んでいます。



動物園に仲間入りした「たぬぎ」

7月中旬には、午後9時ごろ頭の上(天頂)に見えます。



はくちょう座

今月の星座

伝言板

○仲間になりませんか。
硬式テニスサークル
連絡先 52-5399 工藤

○仲間になりませんか。
少年剣道(剣武館)
連絡先 53-2074 一戸

○お譲りください。
婦人用中古自転車格安にて
連絡先 52-4472 今

○係から
このコーナーをご利用したい方は役場企画室まで

戸籍の窓

五月届出



はじめまして

享平ちゃん
4月21日生まれ
体重 3,500グラム
喜良市 奈良 健司さんの次男

おめでとう



- 奈良 享平(健司) 喜良市
- 石田 奈々(清則) 金木
- 斎藤 英樹(忠) 嘉瀬
- 西村麻依子(政秀) 喜良市
- 白川 藍子(義康) 川倉
- 對馬 智美(篤) 金木
- 今 泰人(義則) 喜良市
- 今 あゆみ(清司) 喜良市
- 今 麗太(幸仁) 喜良市
- 浜田 司都(尚人) 嘉瀬
- 唐牛 藍(忍) 金木
- 山田 秀準(秀造) 金木
- 福井 幸喜(省三) 稲垣村
- 秋元由紀子(年二) 川倉
- 小山内洋一(正美) 藤木枝
- 工藤 睦子(勇藏) 金木

おしあわせに

- 工藤 美恵(長次郎) 金中里木町
- 白川 まり子(正照) 金木
- 岡田 昌子(兼作) 喜良市
- 渡辺 金義(芳嗣) 黒石市
- 伏見 長敏(長三郎) 川中里倉
- 其田 八寿子(義則) 川中里倉
- 對馬 洋子(治好) 嘉瀬
- 小寺 友幸(政明) 嘉瀬
- 高木 春男(鉄男) 常盤村
- 田村 実佳子(重治) 喜良市
- 葛西 克幸(豊蔵) 金木
- 田中 富子(富弥) 森田村
- 外崎 絹子(正司) 嘉瀬
- 花田 司(勇) 鶴田町
- 白川 照行(権四郎) 金木
- 白川 慶子(久慶) 川倉
- 豊川 一幸(幸雄) 稲垣村
- 木村 浩子(繁光) 嘉瀬
- 八木橋 幸代(良治) 嘉瀬
- 中谷 弘通(弘) 嘉瀬
- 白川 美勝(清勝) 五所市
- 白川 美樹(正雄) 金木
- 原田 郁子(正信) 中柏木
- 工藤 吉昭(吉松) 青森市

おくやみ

- 佐藤 義信(勇吉) 五所市
- 鳴海 惠美子(兼春) 嘉瀬
- 小野 永一(松則) 中里町
- 小笠原 瑠美子(真市) 金木
- 加藤 幸夫(国夫) 稲垣村
- 山上 淳子(義昭) 金木
- 山村 久美子(克夫) 北海道
- 今 久美子(正則) 喜良市
- 土岐 忠義(忠男) 嘉瀬
- 中谷 みさ子(宇一郎) 川倉
- 白川 春治(政藤) 金木
- 桑田 ひとみ(英三) 喜良市
- 長尾 晴彦(徹之輔) 五所市
- 成田 由美子(正勝) 金木

人口と世帯	5月31日現在	前月比
	男	6,860人 (+4)
	女	7,364人 (-25)
	人口	14,224人 (-21)
	世帯数	3,905世帯 (+1)

- 工藤 忠光 (59) 嘉瀬
- 山田キヨエ (60) 金木
- 泉谷 恵智子 (21) 川倉
- 平川 由八 (76) 嘉瀬
- 山中 キセ (66) 嘉瀬
- 鳴海 清作 (80) 嘉瀬
- 柳引 チヤ (85) 嘉瀬
- 太田 ソノ (81) 喜良市